



【12月の保育のねらい】

- ・戸外で探索や身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・自我や要求を受け止めてもらい、満足感を味わう。



＜戸外で色々な発見を楽しむこどもたち＞

毎日元気いっぱいのこどもたち。散歩に行く時間になると、すぐに保育者の所に来て帽子を被り張り切って出発します。

公園ではどんぐりや落ち葉集め、保育者との追いかけっこに夢中です。地面を見ながら“どんぐりあるかな？”と探しています。見つめられると“あったー”と嬉しそうに保育者に知らせてくれたり、他のお友だちにも見せてあげようとする一面も見られました。また、追いかけっこでは保育者が木に隠れると“どこかな？”ときょろきょろ見回して、見つけることができる大喜びです。

こどもたちは色々な発見を楽しんでいます。成長するにつれて行動範囲も広がり興味を示す物も増えてきます。指差しや声を出して伝えようとする姿を受け止め、共感しながらこどもたちと発見を楽しんでいきたいと思ひます。



【12月の保育のねらい】

- ・スプーン、フォークを使って楽しい雰囲気の中で食事をします。
- ・絵具、粘土、描画を楽しむ。



＜ごはん、おいしいね！自分で出来たー＞

スプーンを使って食べるのが上手になってきたので、だんだんとメニューに合わせてフォークも使って食べています。自分で好きなものから次々と食べたくなるので、その気持ちを受け止めつつ、フォークの使い方も知らせています。にんじんやジャガイモなど形が大きくフォークでさせるものは、「フォークでちゅくんだね」と声をかけ、フォークを使うように促しています。だんだんとフォークに慣れてきた子は、「にんじんさんちゅくんできた」と保育者が声をかけなくても自分でできるようになっています。うまくさせない子は、嫌がらない程度に手を添えて、一緒にやってみたり、声をかけたりしています。日中の活動で疲れた時や眠いときなどは、まだまだ自分で食べることに嫌になってしまう姿もありますが、そんな時は、「今日はいいか」と頑張りすぎず、ゆったりとおいしく食事ができるようにしています。日々のこどもたちの様子に合わせて、こどもたちが楽しく食事をすることができればと思ひます。



うさぎ組

【12月の保育のねらい】

- ・気の合う友だちとのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。
- ・自分が食べられる食材や量を知り完食する喜びを味わう。



＜発見がいっぱい＞

お散歩に行くことを楽しみにしているうさぎ組。「お散歩に行こう」と声を掛けると「やった～！」と嬉しそうにします。黄色の帽子をかぶり自分のマークが付いた散歩用ポシェットを持って出発です。

道中では、「〇〇ちゃんの好きな色のお花があるよ」と発見を楽しみながら歩くこどもたち。薬師公園に着くと早速「どんぐりあるかな？」「何か実があるかな？」と探し始め、1人が見つけると「みんな、ここにあったよ～」と見つけた場所を教えてくださいます。どんぐりの頭を取って「どんぐりの帽子屋さんです」とお店屋さんを始めたり、落ち葉を一か所に集めその中に入って「お風呂だよ、〇〇ちゃんも一緒に入る？」と誘ったり、楽しんでいます。大きい葉に穴をあけ顔を隠しながら「おぼけだそー」と保育者や友だちを追いかけるなど身体を動かすことも好きです。

この季節ならではの自然に触れながら、こどもの発見や驚き、喜びを受け止め共感しながら散歩を楽しんでいます。



ちゅうりっぷ組

【12月の保育のねらい】

- ・絵本や紙芝居の物語や日常生活をごっこ遊びにして楽しみ、なりきって遊ぶ
- ・生活や遊びの中で、自分の思いを伝え、相手にも思いがあることを知る。

＜再現遊びに夢中です＞

ちゅうりっぷ組では、集まりの時や給食の前、お昼寝の前などに日に一度は必ず紙芝居や絵本を読んでいます。「さつまのおいも」という絵本を読んだとき、「やきいも会で食べたやきいも美味しかったなあ」「もう一回やきいも会したい」という声があったので「じゃあ、公園でやきいも会する？」と提案してみました。すると「やりたい！」「この前、薬師公園にいった時、葉っぱがいっぱいあったよ」「集めたら絵本みたいにできるかも」と早速、新聞紙で作ったお芋を持って薬師公園に行きました。着くとすぐに葉っぱを山のように集めて、お芋を乗せて焼いていきます。「やきいも会の時、大人たちがうちわで仰いで焼いていたよね」「でもうちわないじゃん」「あ、じゃあこれは？」と大きな落ち葉を見つけてきて、うちわ代わりにして仰ぐことにしたこどもたちもいました。「いいにおいがしてきたね」というと「もう少しで焼けるから違うクラスも呼んでこようよ」ということになり、公園にきていたひよこ組やうさぎ組に声をかけて、みんなでやきいも会ごっこを楽しみました。一人ひとりのイメージや経験をもとに、アイディアを出し合いながら、みんなで遊ぶ楽しさを感じられた活動になったと思ひます。

成長を祝う会では、ぜひこどもたちの楽しい姿を見てもらいたく、「さつまのおいも」の劇ごっこに決めました。“みんなと一緒に楽しい”という思いを大切にしながら会へと繋げていけたらと思ひます。初めての成長を祝う会。ドキドキワクワクなこどもたちです。あたたかく見守ってください。



さくら組

【12月の保育のねらい】

- ・友だちや保育者との会話を楽しみ、自分の思いを伝えようとする。また、相手の話も聞こうとする。
- ・劇遊びを通して、友だちのやりたいことを認めつつ、お互いに折り合いをつける。

＜成長を祝う会でどんなことをする？＞

こどもたちと成長を祝う会について話し合いを進めてきました。まず、「成長を祝う会とはなんだっけ？」というところから始まり、去年ちゅうりっぷの時にやった「おおきなかぶ」を思い出すと、会のことをイメージできるようになりましたが、中には、「成長を祝う会の話をするよー」と声をかけると、「かぶやるんだよね」とかぶの世界から抜け出せない子がいたり、「ぼくは絶対にじゃがいもがいい。～はやりたくない」という子がいたり、「みんながやるならしょうがないけど・・・ほんとはその話はやりたくない」という子がいたり、「やる！やりたい！！」というわりに話し合いを始めると、違う話で盛り上がってしまっ、全然話が進まなかったりと・・・みんながみんな楽しめるものに行きつくまでに紆余曲折あり、「どうぶつサーカスはじまるよ」に決まりました。この話に出てくる動物たちはそれぞれどの動物も魅力があり、自分が何の役で舞台に出るかまだ決めきれていない子もいますが、どの子も「これやってみたい」「こんなふうにするのはどう？」とアイディアを出しながら取り組んでいます。担任はひとりひとりのこどもたちの思いをくみ取りつつ、また、こどもたちは友だちの思い・言葉に耳を傾け、本番までにみんなで一つのものを作っていこうと思ひます。ぜひ、当日の発表にご期待ください。



もみじ組

【12月の保育のねらい】

- ・成長を祝う会へのイメージを持ち、やりたいことを出し合いながら、友だちと協力してひとつのことに取り組む。

＜生活習慣の見直し＞

運動会後から、午睡がなくなりました。さらに就学前健診で学校へ行き「(就学前健診で)校長先生に名前言えたよ」とときどきわくわくの出来事があったり、「ランドセルが届いたんだ！」など、小学校へ向けての準備も進み、学校へ行くことや大きくなったことを実感している様子うかがえます。

ぜひ、生活面を見直す機会にしていましよう。

- 寝不足は、イライラしたり、頭がぼーっとしてしまいますので、【早起きのリズム作り】をしていましよう。
- 服の前後が違ってないか、下着が出ていないか、髪の毛がボサボサになっていないか、口のまわりが汚れていないかなど、【身だしなみを整えられる】ようにいましよう。
- 自分の水筒やリュックは自分で持つ、忘れ物がないか確認するなど【自分のことは自分でいましよう】習慣にしていましよう。

急に“ひとりでやりなさい”と言われても、すぐには出来ないものです。一緒に行いやり方を教えていながら、自分でできる部分が増えていけるようにいましよう。気をつける事は、先取りせず“待つてあげること”です。“小学生になるんだからちゃんとできないと…”と不安が大きくなってしまふことがあるので、「もう少し小学生になるんだから」はあまり言わず、小学校へ行くことが楽しみ！憧れ！となるよう、今の時間を一緒に楽しく過ごせるといいですね。

